

Jia Fine mist®(ジアファインミスト) 指定次亜塩素酸専用 超音波噴霧器

型式·型番: JF-5A 取扱説明書



ーもくじー

安全上のご注意	2 ~ 4
同梱品	5
各部のなまえ	6~7
設置について	8
電源について	8
リモコンの準備	9
使いかた	10 ~ 13
希釈水を作る	10
水タンクに希釈水を入れる	10 ~ 11
操作のしかた	12 ~ 13
お手入れのしかた	14 ~ 19
取り外しかた	14 ~ 15
本体のお手入れ	16
水タンク・水タンクふた・	
吹き出し口のお手入れ	17
特許フィルター入り カートリッジの交換時期	17
組み立てかた	
保管のしかた	20
故障かなと思ったら	21
製品仕様	
保証書	
	24

はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。 ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使 用ください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

安全上のご注意



ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危 害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してか ら本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能 性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定さ れる内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意(警告を含む)を促す 内容があることを告げる ものです。



禁止の行為であること を告げるものです。



行為を強制したり指示す る内容を告げるものです。

⚠ 警告

異常や故障の場合



万一、煙が出たり、異臭や異音がしたら、 すぐに電源を切り、そのあと必ず電源 プラグをコンセントから抜く



異常状態のまま使用すると、火災・感電の原 因になります。煙が出なくなるのを確認して 販売店または弊社お客様サポートセンターに 修理をご依頼ください。お客様による修理は 危険ですので絶対におやめください。



電源プラグ・電源コードが傷んだら(芯 線の露出、断線など)使用しない

そのまま使用すると火災・感電の原因にな ります。



万一、本製品を落とした場合は、本体 の電源を切り、電源プラグをコンセン トから抜く

グを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因にな ります。販売店または弊社お客様サポートセ ンターにご連絡ください。



万一、異物が本製品の内部に入った場 合は、本体の電源を切り、電源プラグ をコンセントから抜く

雷頂プラ グを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因にな ります。販売店または弊社お客様サポート センターにご連絡ください。

設置される場合



ぐらついた台の上や傾いたところなど、 不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因にな ります。



表示された電源電圧、交流 100V 以外 の電圧で使用しない

火災・感電の原因になります。

設置される場合(つづき)



子どもの手の届くところで使用しない 事故やけがの原因になります。



本製品を分解・修理・改造しない

火災・感電の原因になります。点検・修理 は販売店または弊社お客様サポートセン ターにご依頼ください。



本製品を水につけたり、かけたりしない 火災・感電の原因になります。

禁止

ミストが電気製品や精密機器に直接当



たる場所に設置しない

電気製品、時計、パソコンなどの精密機器 にミストが当たることで、ショート・故障・ 誤作動の原因になります。

ご使用時



指定液剤以外の液体を使用しない

本製品は指定液剤専用機器です。指定以外 の液体を使用すると破損したり、人体・動 植物・家具などに悪影響をおよぼすおそれ があります。最悪の場合は健康を害するこ ともありますので、絶対におやめください。



吹き出し口や本体のすき間などにピン や針金などの異物を入れない

火災・感雷・故障の原因になります。



電源コードを無理に曲げたり、引っ張っ たり、ねじったり、たばねたり、高温 部に近づけたり、重いものを載せたり、 挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因に なります。

電池について



指定以外の電池を使用しない

液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因にな ります。



加熱・分解・改造をしたり水などの液 体や火の中に入れない

液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因にな ります。



火のそばや直射日光の当たるところな ど高温になる場所での使用や保管、放 置はしない

液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因にな ります。



液漏れした場合は素手で触れない

失明や皮膚の炎症などの原因になります。 液が目や皮膚についたときはすぐにきれい な水で洗い、直ちに医師の診察・治療を受 けてください。



電池は子どもの手の届かないところに 置く

必ず守る

誤飲のおそれがあります。万一、飲み込ん だときは直ちに医師に相談してください。



長期間使用しないときはリモコンから 雷池を取り出す

必ず守る

液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因にな ります。



極性(⊕, ⊖) を間違えないように正しく 入れる

液漏れ・発熱・発火・破裂などの原因にな ります。

お手入れのとき



本製品のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は絶対に使用しない

残った洗剤から有毒ガスが発生するおそれがあります。

介 注意

設置される場合



ホコリの多い場所、調理台のそばなど 油煙や湯気が当たるような場所に置か ない

火災・感電の原因になります。



本製品の上にものを置かない

バランスがくずれて倒れたり落下して、け がの原因になることがあります。



直射日光の当たるところや、発熱器具 の近くなど高温になるところに置かない

本製品に障害を与え、火災・感電の原因に なります。



家具の近くで使わない

吹き出し口から出るミストに含まれている 成分により、影響をおよぼすおそれがあり

ご使用時

お手入れの際は安全のため電源プラグ をコンセントから抜く



本製品をご使用にならないときは、安 全のため必ず電源プラグをコンセント から抜く

グを抜く

移動させる場合は、安全のため電源を 切り、必ず電源プラグをコンセントから 抜いておこなう

電源コードが傷つき、火災・感電の原因に なることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを 引っ張らない

電源コードが傷つき、感電の原因になるこ とがあります。必ず電源プラグを持って抜 いてください。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし ない

感電の原因になることがあります。



電源コードを発熱器具などに近づけな IJ

被覆が溶けて火災・感電の原因になります。



本製品の吹き出し口をふさがない

吹き出し口をふさぐと、感電・火災・故障 の原因になることがあります。



水を入れたまま持ち運ばない

感電・故障の原因になります。



本製品に乗らない

倒れたりこわれたりして、けがの原因にな ることがあります。とくに小さなお子さま のいるご家庭ではご注意ください。



指定の液剤の使用方法に準拠して使用



古い水を使うと、水あかや汚れにより、雑 菌が繁殖し、悪臭や病気の原因になります。

お手入れのとき



本製品の掃除は定期的におこない、清 潔を保つ

掃除をしないで使い続けると、水あかや汚 れ、ホコリにより、雑菌が繁殖し、悪臭や 病気の原因になります。



振動子は手で触れたり、強い力を加え

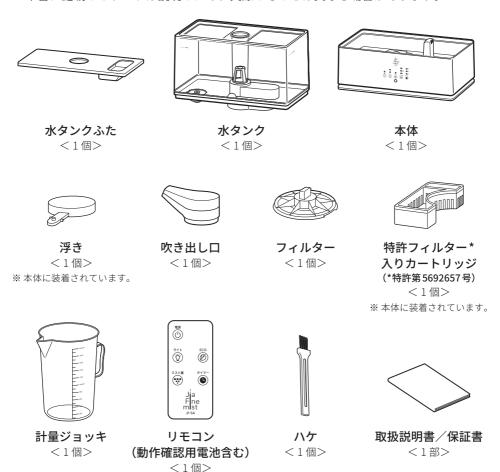
ブラシで強くこする、押すなどしないでく ださい。故障の原因になります。

詳しくはお手入れのしかたをお読みください。

同梱品



- ※ 出荷時は組み上がった状態で梱包されています。
- ※本書に記載のイラストは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。



お知らせ

特許フィルター入りカートリッジについて

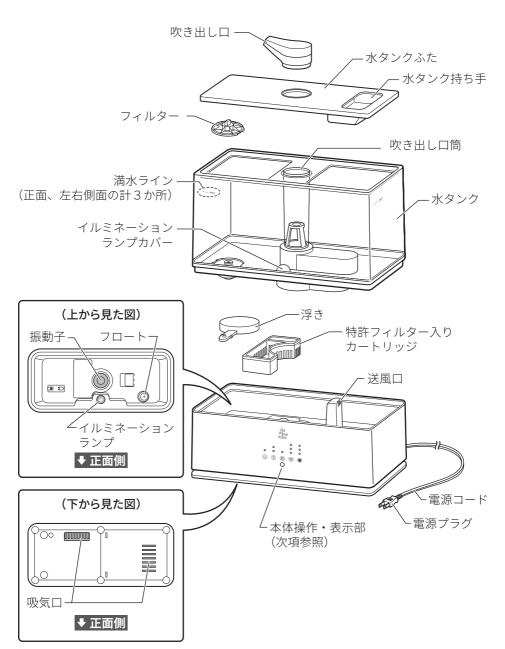
特許フィルター入りカートリッジは、水道水に含まれているカルシウムやマグネシウムなどの不 純物を吸着し、白粉現象*を最小限に抑えます。

また、特許フィルター入りカートリッジのはたらきにより、次亜塩素酸の性質である弱酸性が希 釈水の状態でも保持され続けます。

* 白粉現象とは、水道水に含まれる不純物が結晶化して白い粉(カルキ)になること。

各部のなまえ

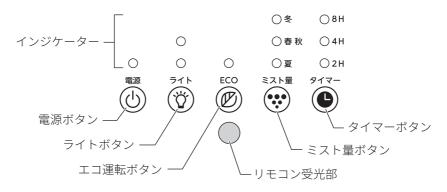




各部のなまえ



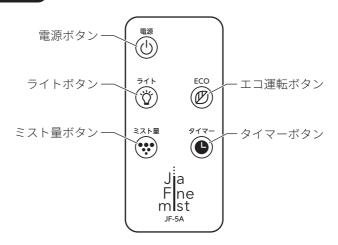
本体操作・表示部



お知らせ

- タッチパネル式について
- ・本製品の操作ボタンはタッチパネル式を採用しており、軽く触れるだけで操作できます。 (強く押す必要はありません。)
- ・各ボタンを押すときは、必ず指の腹でタッチしてください。指先などでタッチすると反応しない場合があります。

リモコン



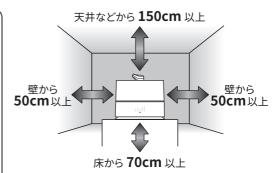
設置について



● 設置の際は安定した台などの上に載せ、図のような位置に置いてください。

⚠ご注意

- ・ミストが壁や家具に直接当たるようなところには置かないでください。シミがついたり家具を傷めたりすることがあります。
- ・ミストでぬれることがありますので、家 具やフローリング・畳・大理石の上に置 く場合はご注意ください。(受け皿などの 上に設置することをおすすめします。)
- ・必ず水タンクを装着して使用してください。
- ・本製品周辺に電気製品および紙類など 水分に弱いものがある場所では、絶対 に使用しないでください。



お知らせ

・本製品は超音波によりミストが発生しますので、 熱い蒸気は出ません。

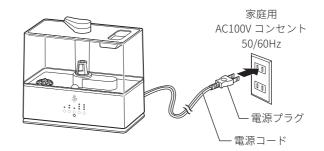
電源について



電源プラグをコンセントに接続 します。

「ピッ」と音が鳴ります。

※ 本製品は、家庭用のAC100V 電源に対応しています。



⚠ご注意

電源コードの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。次の点にご注意ください。

- ・電源プラグはAC100V 50/60Hzのコンセントに接続してください。
- ・長時間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

リモコンの準備



リモコンにはあらかじめ電池が入っています。 ご使用の前に絶縁フィルムを引き抜いてください。 ※ あらかじめセットされている電池は動作確認用です。



● 電池を交換するときは

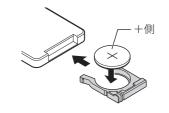
 リモコン底部の電池ホルダーを引き出す タブを内側に押しながら(●)電池ホルダー の切れ込みにツメを入れ、電池ホルダー全体 を手前にスライドさせます(②)。



コイン形電池の極性(⊕, ⊖)を間違えないようにして、電池ホルダーに入れ、電池ホルダーを リモコンにしっかりと戻す

使用電池 CR2025

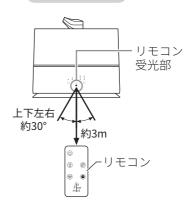
※ 電池を入れる際は電池の極性(⊕, ⊖)をよく確かめてください。 (電池のプラス側には+の刻印があります。)



● リモコンの受光範囲

- ※ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ※ リモコンの受光範囲は、受光部より距離約3m以内、 角度は上下左右約30°以内です。

正面から見た図



使いかた



希釈水を作る

付属の計量ジョッキに指定量の次亜塩素酸を入れ、 そのあと満水ライン (2000CC の目盛り)まで水道水を 入れて希釈水を作ります。

次亜塩素酸の濃度によって希釈倍率が変わります。 次亜塩素酸の量については、下表を参照してください。

お願い

・希釈水を作る際は、必ず水道水 (飲用)をご使用ください。(水道 水は雑菌が繁殖しにくいように、 塩素で殺菌処理をしています。)

次亜塩素酸濃度	希釈倍率	次亜塩素酸の量	水道水の量
200nnm	通常時(4倍希釈)	500CC	1500CC
200ppm	感染や臭いが気になる場合(2倍希釈)	1000CC	1000CC
200nnm	通常時(6倍希釈)	300CC	1700CC
300ppm	感染や臭いが気になる場合(3倍希釈)	600CC	1400CC
FOOnnm	通常時(10倍希釈)	200CC	1800CC
500ppm	感染や臭いが気になる場合(5倍希釈)	400CC	1600CC

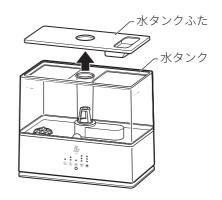
- ※ 上記は基本目安です。環境や状況に合わせてご使用ください。
- ※ 付属の計量ジョッキを使用すると、1回で約2L分の希釈水を作ることができます。

水タンクに希釈水を入れる

お願い

- ・給水の場合には、注ぎ足しせず、すべて新しい希釈水に取り替えてください。
- ・絶対にお湯や冷水を入れないでください。変形や故障の原因になります。
- ・長期間ご使用にならない場合は、本体に希釈水を残さないでください。 (タンクに入れた希釈水は1週間程度で使い切っていただくことをおすすめします。)

1 水タンクから水タンクふたを取り外します。



使いかた



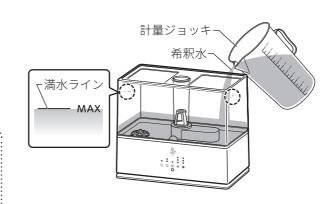
水タンクに希釈水を注ぎます。

使用量に合わせて希釈水 を作り、繰り返し注いでく ださい。

※「希釈水を作る」 (➡ 10ページ)参照。

お願い

・ 水タンク正面および左右の側面にある満水ライン以上に希釈水を入れないでください。

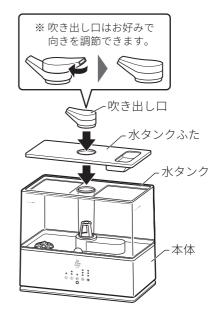


水タンクに水タンクふたをしっかりとかぶ せ、吹き出し口を取り付けます。

吹き出し口の向きはお好みで調節してください。

お願い

・本体と水タンク、水タンクと水タンクふた の間にすき間がないか確認してください。 すき間があるとミストが漏れ出し、本体内 や周囲をぬらしてしまうことがあります。



お願い

- ・ぬれている部分が無いように乾いたタオルなどで全体をよく拭いてから水タンクを載せてください。
- ・本製品を移動させるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜き、水タンク・本体を空にして持ち運んでください。



操作のしかた

※ 本体操作ボタンはタッチパネル式を採用しています。 詳しくは「タッチパネル式について」(➡ 7ページ)をご覧ください。

●運転する

- 1 電源ボタンを押します。
- L 「ピッ」と音が鳴り、電源および冬モードのイ ンジケーターが点灯し、冬モードで運転を開 始します。
- ミスト量を変更する場合は、ミスト量ボタンを押します。

押すたびに「ピッ」と音が鳴り、ミスト量とインジケーター表示が右図のように切り換わります。

- ※ モードごとのミスト量は右下表をご覧ください。
- ※ お部屋の広さや空調によっては、床などがぬれてしまう場合があります。モードを変更したり、エコ運転に設定するなどしてミスト量を調節してください。

(「エコ運転に設定する」(**→**次ページ)参照)

- ※ 運転停止後、約1分間はファンの動作音がする 場合があります。
- つ 電源を「切」にするには、電源インジケーター 点灯中に電源ボタンを押します。

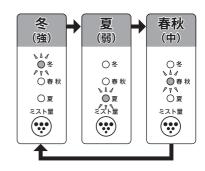
「ピッ」と音が鳴り、すべてのインジケーター が消灯して電源が「切」になります。

お知らせ

- ・水タンクの希釈水がなくなると、電源インジケー ターが点滅し、自動的に運転が停止します。
- 必ず電源を「切」にしてから、水タンクに希釈水を入れてください。(→10ページ参照)
- ※電源を切らずに希釈水を入れると自動で運転再開 になり、水ぬれの原因となりますのでご注意くだ さい。

お知らせ

運転開始直後はモーター音が多少 大きくなることがございますが、 異常・故障ではございません。 数分程度で小さくなります。



※ミスト量の目安

モード	ミスト量
夏モード (弱)	約 100ml/h
春秋モード(中)	約 250ml/h
冬モード (強)	約 380ml/h

お願い

- ・長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・長期間ご使用にならないときは、本 体に希釈水を残さないでください。 本体内に希釈水が残っていると雑菌 が繁殖するおそれがあります。

使いかた



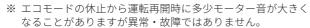
● エコ運転に設定する

エコ運転では、1分間のミストと3分間の休止を交互に繰り返し、通常運転時よりもミスト量を抑えて運転します。

※ 保菌者がいる場合や悪臭が気になる場合などは、通常運転でのご使用をおすすめします。 ただしその際、お部屋の広さや空調によっては、床などがぬれてしまう場合がありますのでご注意ください。

運転中 (電源およびミスト量インジケーター点灯時)に エコ運転ボタンを押します。

押すたびに「ピッ」と音が鳴り、エコ運転のオン/オフが切り換わります。エコ運転中はエコ運転インジケーターが点灯し、オフにすると消灯します。



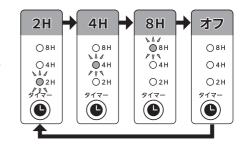


● 切タイマーを使う

切タイマーを設定すると、設定時間が経過したあとに自動で運転を停止し、電源を「切」にします。

電源「入」時(電源インジケーター点灯時)にタイマーボタンを押します。

押すたびに「ピッ」と音が鳴り、設定時間とインジケーター表示が右図のように切り換わります。



● LED ライトを使用する

7色のLEDイルミネーションでお部屋を明るくほのかに彩ります。

電源「入」時(電源インジケーター点灯時)にライトボタンを押します。

押すたびに「ピッ」と音が鳴り、ライトの色とインジケーター表示が下図のように切り換わります。

- ※ グラデーションは、点灯色が自動で徐々に変化していく機能です。
- ※ 点灯色の見えかたには個人差があります。





♠警告

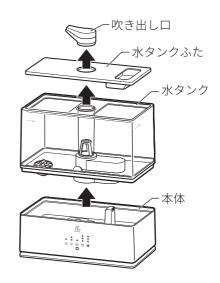
・お手入れをする ときは、必ココン 源プラグから抜コント セントなって ださい。

お願い

- ・絶対に本製品をブラシや金属などでこすり洗いしないでください。 故障の原因になります。
- ・振動子は手で触れたり、強い力を加えないでください。
- ・酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジンなど)、みがき粉、 金属たわしなどは使用しないでください。変形・変色・キズなどの原 因になります。

取り外しかた

- 電源を「切」にして電源プラグをコンセントから抜き、吹き出し口、水タンクふた、水タンクを取り外します。
 - ※ 水タンク内に希釈水が残っている場合は排水してください。



本体内部の特許フィルター入りカートリッジを持ち上げて取り外します。





本体内に希釈水が残っている場合は、本体を傾けてゆっくりと排水します。

お願い

・排水時に送風口に希釈水が入ったり、電源コードなどに希釈水がかからないよう、十分ご注意ください。故障の原因になります。



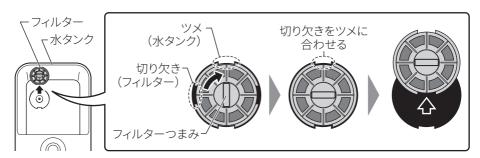
- // 本体内部の浮きを取り外します。
 - 1) 片手で本体を押さえながら浮きを持ちます。
 - 2) 浮きを右図の方向にこじるようにして外します。

お願い

・取り外す方向を誤ると破損の原因になりますのでご注意ください。



- - 1) フィルターつまみを持ち、フィルターの切り欠きが水タンク内部のツメに合うように回します。
 - 2) フィルターを上に持ち上げて取り外します。





本体のお手入れ

お願い

- ・水洗いをしないでください。送風口などから希釈水が入り込み、故障の原因になります。
- ・本体に希釈水が残っている場合は、必ず捨ててからお手入れしてください。

● 本体内部のお手入れ

指定次亜塩素酸をまんべんなくスプレー し、乾いたやわらかい布で水分をよく拭 き取ってから、陰干しをして完全に乾か してください。

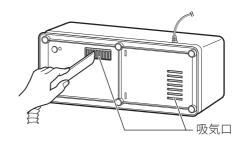


● 吸気口のお手入れ

本体底部の吸気口に掃除機のノズルを当て、ホコリを吸い取ってください。

お願い

・ホコリが溜まると故障の原因になりますのでこまめにお手入れしてください。

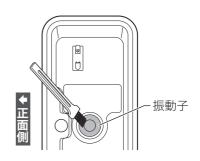


●振動子のお手入れ

指定次亜塩素酸をスプレーしてから、付属の ハケで本体底面にある丸い振動子についた鉱 物成分を取り除き、きれいな水でよくすすい でください。

お願い

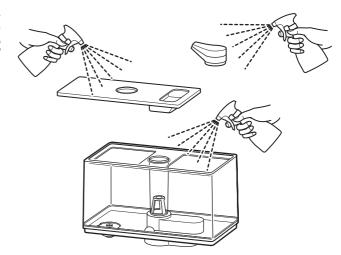
- ・強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- ・絶対に本製品をブラシや金属などでこすり洗 いしないでください。故障の原因になります。
- ・操作部に水がかからないようご注意ください。





水タンク・水タンクふた・吹き出し口のお手入れ

指定次亜塩素酸をまんべん なくスプレーし、乾いたや わらかい布で水分をよく拭 き取ってから、陰干しをし て完全に乾かしてください。



特許フィルター入りカートリッジの交換時期

快適にご使用いただくため、半年に1回交換してください。

ただし、それ以前に不純物の結晶である白い粉 (カルキ) が付着しやすくなってきたり、カートリッジ内部の特許フィルターの色が著しく変色した場合は、その都度カートリッジを交換してください。

そのまま使用を続けると除菌・消臭効果が低下します。

※「特許フィルター入りカートリッジについて」(→5ページ)参照。

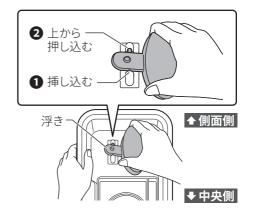
お願い

- ・特許フィルターは不純物を吸着すると徐々に変色していきます。フィルターが著しく変色した際は必ず新しいものと交換してください。
- ・本体のお手入れ後に再び取り付ける際は、完全に乾いた状態で取り付けてください。



組み立てかた

- 1 本体内部に浮きを取り付けます。
 - 本体中央側の穴に突起部を挿し込み
 - (**1**)、本体側面側の取り付け部に突 起部をあてがい、軽く押し込みます (**2**)。
 - ※ 浮きの向きが合っていないと取り付けることができませんのでご注意ください。

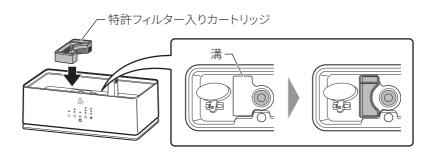


本体内部に特許フィルター入りカートリッジを取り付けます。 本体内部の溝にはめ込むようにして取り付けてください。

お願い

・長期間ご使用にならない場合は、特許フィルター入りカートリッジを完全に乾かしてから保管ください。

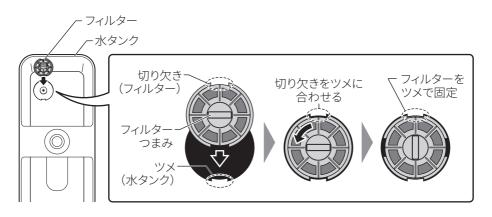
湿ったままで保管されますと、カビの発生やフィルターが固まることにより次にご使用の際、故障の原因となります。





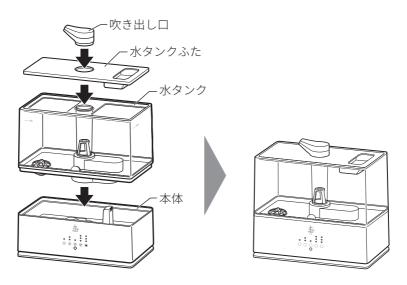
3 水タンク内部にフィルターを取り付けます。

フィルターの切り欠きを水タンク内部のツメに合わせて差し込み、フィルターつまみを持って90度程回してフィルターを固定してください。



4 水タンク、水タンクふた、吹き出し口をもとどおりに取り付けます。

※ 箱に収納して保管する場合は、吹き出し口は取り付けないでください。(➡次ページ参照)



保管のしかた



本製品は一年をとおしてお使いいただけますが、長期間使用しない場合は下記の手順で保管してください。

「お手入れのしかた」(**→** 14 ~ 17ページ)にしたがってお手入れをしてください。 お手入れ後は各部の水をよく拭き取り、十分に乾燥させてください。

お願い

- ・本製品に水気が残った状態で保管すると、カビの発生や故障の原因になりますのでご注意 ください。
- \bigcirc 「組み立てかた」(\Rightarrow 18 \sim 19ページ) にしたがって組み立て、ポリ袋などに入れてから梱包箱などに詰めて保管してください。

直射日光の当たらない湿気の少ない場所に保管してください。

※ 吹き出し口は外した状態で保管してください。吹き出し口が取り付いていると、きちんと箱 に収納できません。



故障かなと思ったら



● 使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。 修理を依頼される前に、下表でご確認ください。

それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター (➡裏表紙)までご相談ください。

ノメー (➡表衣私/よ C C 作談 \ / C C U io						
症状			考えられる原因			対処方法
電源が入らない		•	電源プラグが抜けている。		•	電源プラグをコンセントにしっかり と差し込んでください。
		•	水タンクに希釈水が十分 入っていない。		•	水タンクに希釈水を入れてください。
運転しない		•	水平でない場所に設置している。		•	水平な場所に置いてください。
ミストが吹き出さ ない (ミストが発生して		•	振動子にホコリや鉱物成分 が付着している。		•	「振動子のお手入れ」(➡ 16ページ)* にしたがって取り除いてください。
いない)		•	指定液剤以外の液体を使っ ている。		•	指定次亜塩素酸の希釈水を使ってく ださい。
ミストが少ししか 吹き出さない		•	水タンク、水タンクふたが ずれている。		•	水タンク、水タンクふたを正しく載 せてください。
			振動子が壊れている。 (ミストが発生していない*)		•	販売店または弊社お客様サポートセ ンターにご相談ください。
		•	本体内部が汚れている。		•	「本体内部のお手入れ」(→ 16ページ) にしたがってお手入れしてください。
ミストが臭う			古い希釈水を使っている。			水タンクの希釈水を捨ててよくすす ぎ、新しい希釈水を入れてください。
		•	水タンクふたがずれている。		•	水タンクふたを正しくかぶせてください。
希釈水が漏れる		•	水タンク、吹き出し口がき ちんと取り付いていない。	•	•	水タンク、吹き出し口を正しく取り 付けてください。
		•	水平でない場所に設置している。		•	水平な場所に置いてください。
		•	電池が切れている。		•	新しい電池に交換してください。
リモコン操作が できない		•	リモコンをリモコン受光部に向けていない。		•	リモコン受光部に向けて操作してください。
CC & V'		•	本製品から離れすぎている。		•	リモコンの受光範囲は、受光部より 約3m以内です。受光範囲内で操作 してください。

^{*} 点検時に希釈水が飛びはねる場合がございます。必ず大きめのタオルなどをご使用ください。

製品仕様



機	器	名	称	Jia Fine mist® (ジア ファイン ミスト) 指定次亜塩素酸専用 超音波噴霧器		
型	式·	型	番	JF-5A		
				夏モード (弱) 約 100ml/h		
≡	ス	٢	量	春秋モード (中) 約 250ml/h		
				冬モード (強) 約 380ml/h		
適	応 床	面	積	約 8畳~ 30畳 (条件により増減する可能性があります)		
霧	出			2方向 360°		
給	水	方	式	タンク式 5L(上から給水)		
使	用	液	剤	指定次亜塩素酸専用 ※次亜塩素酸ナトリウムは使用不可		
給	水	温	度	5 ~ 40°C		
定	格	電	圧	AC100V 50/60Hz		
消	費	電	カ	30W		
騒	音		量	40dB		
電	源コ	ード	長	約 1.8m		
質			量	約 1.8kg		
外	形	寸	法	約 312 (W)× 135 (D)× 324 (H)mm		
製	造		国	中国		

[※] 外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

[※] 本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

保証書



機種名		e mist®(JF-5A) 駿専用 超音波噴霧器 ^{番号}						
	お名前		様					
お客								
様								
	お電話							
	お買い上げ日	2 0 年 月 日	3					
	保証期間	お買い上げ日から 本体1年間						
販	店 名							
売	住 所							
店	電 話							

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証書に記載の「保証期間」中に故障が発生した場合は、本製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。所定記入欄が空白のままですと、本書は有効になりません。記入の無い場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

- ●お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために 利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ●本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- 1. 取扱説明書の注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、弊社が無料修理いたします。
- 2. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります弊社お客様サポートセンターにご相談ください。
- 3. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の転倒、取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - (二)一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示が無い場合。
 - (へ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、中古販売、オークションなどにて入手された場合。
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- ※この保証書は本書で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの 保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などにつ いてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ●本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償はいたしかねます。

アフターサービス



- 万一、本体を落としたり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償はいたしかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。 保証書はお買い上げの販売店で「販売店 名・お買い上げ日」などの記入をご確認の うえ、内容をよくお読みいただいたあと、 大切に保管してください。 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご 持参ください。保証書の記載内容にしたがって 無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの 販売店にお問い合わせください。

アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの 販売店にお問い合わせください。

高温に対するご注意

とくに夏場での窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。

● お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認のうえ、お伝えください。

製品に関するお問い合わせは

東洋総業株式会社

お客様サービスセンター(お問い合わせ窓口)

フリーダイヤル **0120-640-244** FAX **03-3921-0121**

受付時間

午前 10 時~午後 5 時

(土・日・祝祭日および 弊社指定休業日を除く)

株式会社アズマ

お客様サポートセンター (修理依頼窓口)

フリーダイヤル 0120-00-8984

受付時間

午前 10 時~午後 5 時

(土・日・祝祭日および 弊社指定休業日を除く)

- ・本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
- ・改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。

[販売元] **東洋総業株式会社** 〒 179-0076 東京都練馬区土支田 4-4-3

(輸入発売元) 株式会社アズマ 〒 336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山 3 丁目 2 番 10 号